

第3講 専門用語と理論体系

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 用語・概念と理論について

1 概念 (concept)

- 名称 (用語)
- 内包 (intention): どんな性質のものか 定義
- 外延 (extention): なにが含まれて何が含まれないか
- 分類と境界事例
- アイデア (idea) と理想型 (ideal type)

2 理論 (theory)

統一的説明を与えるための体系的知識。通常、概念間の関連のかたちで表現される。

- 共通性の発見 (帰納: induction) と概念構築 (conceptualization)
- 単純化とモデル (model)
- 公理 (axiom: 検証されない前提) と演繹 (deduction)
- 予測 (prediction) と因果 (causality)

3 仮説 (hypothesis) と実証

世の中が実際にどうなっているかに関して

- 事実、データ、資料
- 直観 (intuition) と仮説構築
- 仮説検証と論理実証主義 (logical positivism)
- 観察と実験 (介入)
- 共同主観 (intersubjectivity) と社会的事実 (social fact)

4 規範 (norm) に関する議論

世の中はどうかあるべきか、私たちは何をすべきか (すべきでないか) に関して

- 価値 (value) をどう扱うか
- 正当性と一貫性

5 具体的な論証 (argument) の形式

Toulmin (1958) のモデル

- Claim (結論)
- Data (論拠): 事実として観察できる事柄
- Warrant (保証): Data から Claim をなぜ導出できるか
- Backing (裏づけ): Warrant の根拠
- Rebuttal (反駁): 例外や誤差の指摘
- Qualifier (限定子): Claim はどの程度確からしいか

氏川 (2007) なども参照。

6 次回までの宿題

次の資料を作り、授業開始時間までに Google Classroom の「ストリーム」に上げておくこと。

- 各自の研究課題について、専門用語を 5–10 個えらび、その定義と、相互の関係を示す
- 自分の研究に関連したどのような「理論」があるか、ひとつ以上紹介

文献

Toulmin, Stephen Edelston (1958) *The uses of argument*. Cambridge University Press.

氏川 雅典 (2007) 「トゥールミンの議論モデルの変容: 批判から寛容へ」『ソシオロゴス』31: 1–19. <<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~slogos/archive/31/ujikawa2007.pdf>>